



NO.24-34 2024年12月1日

<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ

～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

< 聖句 >

イザヤ書 40:28～31

～主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16

キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり
組み合わせられ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成
長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

「イエスと名付けたヨセフ」

2024年のアドベントが始まります。今年クリスマス委員会では語り合いを通して、クリスマスをお知らせする主題を「希望の光～今日を一日生きてみよう」にさせて頂きました。いのち、生きること、生活、環境が困難や不確かさの中に置かれている現実があります。その中で何を希望とするのでしょうか。マタイ福音書にはヨセフがイエスの父となっていたことが記されています。婚約者のマリアが身ごもったと知って、ヨセフは非常に悩んだことでしょう。そのことが公になれば律法では石打刑になってしまうのです。彼は縁を切ることでマリアの安全を守ろうと決心しますが、夢で神からのメッセージを受けます。恐れず妻マリアを受け入れよ、胎の子は聖霊によって宿ったのだ、そして生まれた子を「イエス」と名付けよ、と。「イエス」は「神は救い」との意味で、預言書で約束された「その名は『主は我々の救い』と呼ばれる」存在の出現への希望が込められていたが、ヨセフに明かされたその名の意味は「この子は」自分の民を罪から救う、でした。この時ヨセフにはその実際を知る由もありません。しかしマリアに起こっていることは聖霊によって、神の思いによって導かれ、自分もこの出来事へと呼ばれていると受け取りました。マリアと子どもの父となり、「イエス」と名付け生きて行く。イエスが誕生していく出来事の始めに、このヨセフの、自分にも影響が及ぶ引き受け、しかし神が導くいのちを生かす引き受けがあったのです。【井形英絵】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30～11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45～12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45～12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00～10:20(12月8日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00～10:20(12月8日)

祈 禱 会

毎水曜日 午後 19:00～20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は
牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com



祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。世界バプテスト祈禱週間を覚えて。
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員のために。新園児の募集を覚えて。アドベントチャペル・クリスマス礼拝のために
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にある方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 316の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。第70回定期総会（2025年2月）と準備のために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2024年度の連合の働きのために。

交読イザヤ書十一章一〜十節「イザヤの預言・降誕」

エッセイの株からひとつの芽が萌えいて、

その根からひとつの若枝が育ち、その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊、思慮と勇気の霊、主を知り、畏れ敬う霊。

彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。

目に見えるところによって裁きを行わず、耳にするところによって弁護することはない。

弱い人のために正当な裁きを行い、この地の貧しい人を公平に弁護する。

その口の鞭をもって地を打ち、唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

正義をその腰の帯とし、真実をその身に帯びる

狼は小羊と共に宿り、豹は子山羊と共に伏す。

子牛は若獅子と共に育ち、小さい子供がそれらを導く。

牛も熊も共に草をはみ、その子らは共に伏し、

獅子も牛もひとしく干し草を食らう。

乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ、幼子は蝮の巢に手を入れる。

わたしの聖なる山においては、何ももの害を加えず、滅ぼすこともない。

水が海を覆っているように、大地は主を知る知識で満たされる。

その日が来れば、エッセイの根は、すべての民の旗印として立てられ、

国々はそれを求めて集う。

そのとどまるところは榮光に輝く。